



「人権教室」・「人権スポーツ教室」が開催されました

12月11日、八雲中学校において、障がいのある方の人権の正しい理解と認識を深めることを目的に、「人権教室」および「人権スポーツ教室」が開催されました。

1年生は人権擁護委員の佐々木一也氏による、「障がいのある方の人権について」をテーマとした人権教室を受講し、2年生は、ハーダーズ函館元町ライオンズWBCの方々のご協力のもと、パラリンピック競技でもある車いすバスケットボールを体験する人権スポーツ教室を受講しました。

生徒たちは、講話や体験を通して、障がいのある方の人権について理解を深めるとともに、思いやりの心を育む機会となりました。



受賞おめでとうございます！

令和7年度中学生人権作文コンテスト 八雲地区大会表彰

12月12日、令和7年度中学生人権作文コンテスト八雲地区大会の表彰状および記念品の伝達式が行われました。本コンテストは次代を担う中学生が人権尊重の重要性や必要性について理解を深め、豊かな人権感覚を身につけることを目的として毎年開かれ、八雲地区大会には、函館地方法務局八雲支局管轄内の4町村にある中学校から多くの作品の応募がありました。

八雲町内中学校からの応募作品は、1校から6編あり、選考の結果、八雲中学校1年生の宗山采音さんが優秀賞を受賞しました。



フクロウ(不苦労)な年になりますように！

門松と鏡餅を寄贈していただきました

12月23日、八雲産業株式会社八雲事業所より、トドマツを青竹に見立てて制作した「門松」と苦労しない「不苦労」の願いを込めて同社職員がチェーンソーで制作したエゾフクロウとクマの彫刻の寄贈がありました。

また、八雲町もち米生産部会より、八雲町特産のもち米「風の子もち」を使用した鏡餅を寄贈がありました。

ご寄贈いただいた皆さんに心より感謝申し上げます。

